

小学校算数、中・高等学校数学の目標及び特徴的な記載事項

学校	目標	学年目標, 分野目標	指導計画の作成と内容の取扱い
小学校	算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。	A 数と計算 …(計算)の意味を理解し、それらの計算の仕方を考え、用いる… B 量と測定 …(量)の単位と測定について理解できる… C 図形 …図形について理解できる… D 数量関係 …数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができる…	算数的活動は、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けたり、思考力、判断力、表現力等を高めたり、算数を学ぶことの楽しさや意義を実感したりするために、重要な役割を果たすものであることから、各学年の内容の「A数と計算」、「B量と測定」、「C図形」及び「D数量関係」に示す事項については、算数的活動を通して指導するようにすること。 思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、言葉、数、式、図、表、グラフを用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの学習活動を積極的に取り入れるようにすること。
中学校	数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。	A 数と式 …方程式について理解し用いる… B 図形 …論理的に考察し表現する… C 関数 …関係を見いだし表現し考察する… D 資料の活用 …傾向を読み取る…	数学的活動を楽しめるようにするとともに、数学を学習することの意義や数学の必要性などを実感する機会を設けること 自ら課題を見いだし、解決するための構想を立て、実践し、その結果を評価・改善する機会を設けること
高等学校	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」 …について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い(養い・伸ばし)…それらを(積極的に)活用する態度を育てる。	指導に当たっては、各科目の特質に応じ数学的活動を重視し、数学を学習する意義などを実感できるようにする